

コーディネーター通信



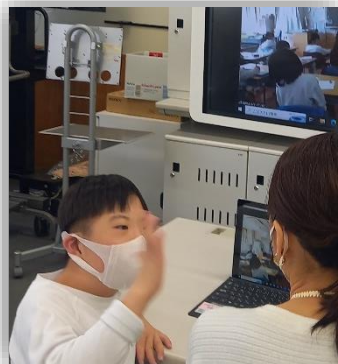
令和5年3月23日（木）発行

支援部 NO.2

都立品川特別支援学校長 松井 栄人

専任コーディネーター 臼田まゆみ

支援部担当 塚本 健



今年度も御協力ありがとうございました。いろいろな制限のあった3年間でしたが、来年度は、より充実した理解推進が進められるように、保護者・地域のみなさまと連携していきたいと思えます。交流及び共同学習では、たくさんの方により学校だよりの交換や作品交流が行われました。オンライン交流も一昨年度より数多く行われました。自己紹介、英語の授業への参加、1年間のまとめ発表、「私の学校自慢」への参加、学習発表会の発表（お互いに）といった内容が行われました。画面の向こうに同年代の友達が見えたり、声が聞こえたりすると、ぐっと身をのりだして、顔が「ぱっ」と輝くのが印象的でした。次年度も安心して副籍交流ができるよう、準備していきたいと思えます。よろしく願いいたします。



そして、とてもすてきなニュースが飛び込んできたのでご紹介したいと思います。

「特別支援学校の子供たちが利用しやすい公園」 できあがりしました！

まずは、以下、令和2年11月17日に発行されたコーディネーター通信の記事をお読みください。

子供たちのアイデア等を活かした公園づくり—品川区の取り組み紹介—

品川区は公園作りに「子供たちのアイデアを！」ということで、2019年秋から2020年夏にかけて役所でワークショップを開催して、アイデアを出し合いました。本校の中学部3年生の2名とコーディネーターも参加しました。公園課の方が本校に来校して、PTAの役員に聞き取りをしたり、教員にアンケートもとりました。「特別な支援が必要な子供たちが楽しめる公園を作りたい」という強い思いを感じました。「遊具の順番待ちがわかりやすいように足形マークやベンチを並べよう！」「イラストがあると遊び方がわかりやすいかなあ」「かくれ家みたいな場所があると音の刺激が苦手な子も楽しめそう」・・・『子どもたちのアイデア等を活かした公園づくりワークショップ アイデアブック』（品川区防災まちづくり部公園課編）が出来上がりました。実は「大井坂下公園」（JR大森駅近く）の改修工事が近く予定されています。予算が通れば、今回の子供たちのアイデアが活かされる公園が早速実現します。これからも改修や新設される公園に子供たちのアイデアが盛り込まれるそうです。

目黒区民、大田区民も是非！みんなで「チェック＆ゴー」です。



・・・そして時が過ぎ・・・「大井坂下公園」が生まれ変わり、リニューアルオープンしました。

2022年3月13日（日）にプロジェクトのメンバーへのお披露目会がありました。

<プロジェクトの概要>

2019年、品川区の公園課が「障害のある子供も障害のない子供も一緒に遊べるインクルーシブな公園、ユニバーサルデザインに配慮した公園作り」という理念のもと、公募で集まった区内の子供たちのアイデアを活かした「公園づくりプロジェクト」を立ち上げました。本校のPTA役員と児童生徒、支援部コーディネーターに

も声がかかり、協力しました。PTA 役員の皆さんは、着替えスペース、遊出防止の対策、クールダウンの場所、順番待ちマーク等々、「あったらいいな！ポイント」を公園課からの取材でお伝えしました。

当時、中学部の3年生だった2名の生徒は、実際にプロジェクトのメンバーになって自分のアイデアを発表しました。本校コーディネーターはワークショップに講師として出向き、品川特別支援学校の紹介、支援学校に通う子供たちの好きなこと、苦手なことを区内の子供たちに伝えました。

そして・・・

特別支援学校の声が反映した「特別支援学校の子供たちが利用しやすい公園」が本当に完成しました。

駅からのアクセスが便利なので大田区、目黒区の皆さんも是非、遊びに行ってみてください。

いつもは公園で遊んでいない大人たちといつも公園で遊んでいる子供たちが力を合わせて作った公園はひと味もふた味も違うかも・・・ですね。

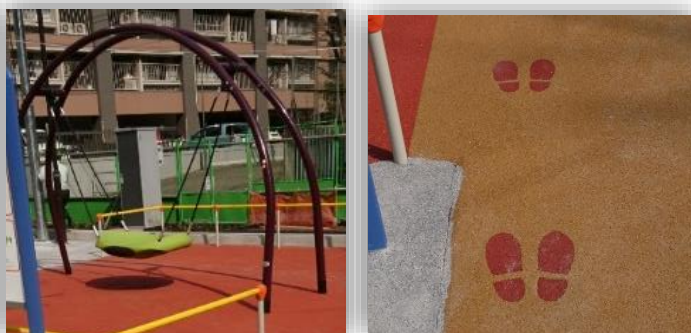


☆おはなしボード

- 何であそぶ？もっと乗りたい！つかれたよ！
気持ちの表現に役立てばいいな！



☆ブランコ順番待ち用足形マーク & 皿ブランコ



「大井坂下公園」 品川区南大井6-23-11

JR 京浜東北線「大森駅」徒歩5分程度

☆クールダウンーム

- 泣いちゃったり、落ち着かなくなった時の安心スペース



☆車椅子でも砂場

- しゃがまずに、車椅子に乗ったままで遊べる砂場です。



☆着替えスペースと 飛び出し対策された出入口

